

第2期宮城県循環器病対策推進計画 令和7年度事業計画

資料2-2

第2期宮城県循環器病対策推進計画		事業名等	関連する計画等 (担当課室)	令和7年度実施計画	整理 番号
節	施策				
1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発	(1) 一次予防の取組強化	みやぎの食環境づくり推進事業	宮城県食育推進プラン（健康推進課食育・栄養班）	・自然に健康になれる食環境づくりの体制構築に向け、産学官関係者を対象とした情報交換会及び研修会を実施 ・県内大学及び企業と連携した「みやぎベジプラスメニュー」の販売 ・各保健所における社員食堂等でのベジプラスメニューの販売及びベジプラス100&塩ecoの普及啓発 ・Web広告、テレビ番組等とタイアップしたベジプラス100&塩ecoの普及啓発	1
	栄養・食生活				
	① 健康的で持続可能な食環境づくりの推進				
	② 栄養・食生活に関する正しい情報の発信	食生活改善普及事業 地域栄養管理対策事業 みやぎの食育戦略推進事業	同上	・望ましい食生活（朝食摂取、食事の適量、バランスのとれた食事、適正飲酒）に関する啓発資料の作成 ・食生活改善推進員等と連携した地域での啓発活動 ・みやぎの食育通信やラジオ番組による栄養・食生活に関する正しい知識の発信	2
	③ 効果的な栄養・食生活の実態把握の実施と普及啓発に関わる人材育成	みやぎの食育推進戦略事業 栄養士研修会	同上	・食育・食生活実態調査結果の分析及び公表とデータ有効活用に向けた研修等の実施 ・みやぎ食育コーディネーター、行政栄養士等向け研修会の実施	3
	④ 食を通じた地域・社会とのつながりの促進	みやぎの食育推進戦略事業	同上	・食育月間等を活用した「共食」の意義等についての普及啓発	4
	身体活動・運動	同上	みやぎ21健康プラン（健康推進課健康推進第二班）	・デジタル身分証アプリ「みやぎ健康ウォーク」を用い、目標歩数8,000歩達成で宮城県地域ポイント（みやぎポイント）が当たる「春の歩数アップキャンペーン」を実施する。（R7.5-6月） ・事業所単位や個人で参加し、目標歩数8,000歩を目指す「歩数アップチャレンジ2025」を実施する。（R7.10-11月）	5
	① 身体活動や歩数増加の機会の増加				
	② 歩きやすい・歩きたくなるまちづくり	同上	みやぎ21健康プラン（健康推進課健康推進第二班（都市計画課））	・まちなかの歩いて移動できる範囲において滞在の快適性の向上を目的として市町村や民間事業者等が実施する「まちなかウォーカブル推進事業」を、石巻かわまちエリア地区で実施する。（R4～R8） ・市町村のウォーキングコースを県ホームページ上で紹介する。	6
	③ PHR（パーソナルヘルスレコード）の活用促進	都道府県国保ヘルスアップ事業	みやぎ21健康プラン（健康推進課健康推進第二班）	・登録者獲得に向け、各広報誌への掲載、市町村の健診や保健指導時又は健康イベント等でチラシの配布や登録会を実施する。また、当該アプリを活用した保健指導を行うことで、保険者支援制度における取組評価につながることを市町村に周知し、更なる登録者獲得への協力を依頼する。 ・健康づくりにつながるスポットを登録したデジタルマップ（公園、スポーツ施設等）を実装する。 ・デジタルギフトが当たる登録キャンペーンを実施する。	7
	④ 身体活動・運動に関する情報発信	スマートみやぎプロジェクト	同上	・みやぎヘルスサテライトステーションにパンフレットを送付し、県民への普及啓発を行う。 ・11月の「みやぎ健康月間」に併せて、県内市町村やヘルスサテライトステーションなどで実施するイベント情報をホームページで紹介する。	8
	喫煙	受動喫煙防止対策推進事業	みやぎ21健康プラン（健康推進課健康推進第一班）	・世界禁煙デー及び禁煙週間、みやぎ受動喫煙ゼロ週間等における普及啓発を実施する。	9
	① 多様な主体による喫煙の健康影響に関する普及啓発				
	② 望まない受動喫煙が生じない環境づくり	同上	同上	・受動喫煙防止宣言施設登録制度により、受動喫煙防止対策の促進に取り組む。	10
	③ 禁煙支援に係る情報発信	同上	同上	・県HP等を活用し禁煙支援に係る情報発信に取り組む。 ・特定健診の場を活用した禁煙支援に取り組む。	11
	(2) 糖尿病重症化予防の強化	都道府県国保ヘルスアップ事業	みやぎ21健康プラン（健康推進課健康推進第一班）	・広域研修を開催する。 ・宮城県糖尿病性医療体制整備のためのワーキングを開催する。 ・糖尿病治療中断者リスト作成・提供を行う。 ・市町村取組状況調査を実施する。	12
	(3) 循環器病の正しい知識の普及啓発	メタボリックシンドローム対策戦略事業	みやぎ21健康プラン（健康推進課健康推進第二班）	・各圏域（保健所）において、市町村、教育機関、医療保険者、職域、関係団体等と、地域の健康課題を共有し、取組の内容、評価等に関する企画・評価会議を実施する。	13

第2期宮城県循環器病対策推進計画		事業名等	関連する計画等 (担当課室)	令和7年度実施計画	整理 番号
節	施策				
2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実		脳卒中・心臓病等総合支援センター事業	— (健康推進課がん・循環器病対策班)	・宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センター（東北大学病院委託）において、県内各市町村の協力（共催）のもと、脳卒中や心臓病をテーマとする県民公開講座を県内各地で3回、全県民を対象とした「県民の健康と医療を考えるセミナー」を仙台市内で1回開催する。	14
	(4) スマートみやぎ健民会議を核とした推進体制の整備	スマートみやぎプロジェクト	みやぎ21健康プラン（健康推進課健康推進第二班）	・県民、企業・団体の担当者等を対象とし、令和7年度みやぎ食育と健康づくりフェスタを開催する。（健康づくりの優良団体表彰、健康づくりセミナー（テーマ：栄養・食生活、運動、睡眠、女性の健康）、応援企業によるブース出展） ・みやぎヘルスサテライトステーションの普及拡大と環境整備の補助事業を実施する。 ・各保健所において、市町村や学校等と連携して子どもの健康なからだづくり推進事業を実施する。	15
	I 検診の普及や取組の推進	健診・保健指導等実践者育成事業	みやぎ21健康プラン（健康推進課健康推進第二班）	・初任者向け（経験年数1～2年目程度）の基礎編（オンデマンド配信）、実践編（対面）の研修を開催するほか、事業企画・運営・評価に携わる保険者職員向けの事業企画・評価編（対面）を実施予定。	16
	(1) 特定健診・特定保健指導従事者育成研修会の開催による人材育成				
	(2) 特定健診等の重要性の県民への普及啓発	宮城県保険者協議会による普及啓発活動	みやぎ21健康プラン（健康推進課健康推進第二班）	・特定健診受診率及び特定健診保健指導実施率を高めるため、特定健診等の重要性を普及啓発するポスター及びWebバナー広告を作成し、県民へ周知を図る。	17
	(3) 健診の実施体制の強化	生活習慣病検診管理指導協議会	みやぎ21健康プラン（健康推進課健康推進第二班、がん・循環器病対策班）	・学識経験者や医療従事者等が委員となっている宮城県生活習慣病検診管理指導協議会及び各部会を開催し、健診の実施主体である市町村へ対して指導を行う。	18
	II 救急搬送体制の整備	ドクターヘリ運航事業	宮城県地域医療計画（医療政策課地域医療第一班）	・基地病院（仙台医療センター及び東北大学病院）、消防機関及び医療機関等と連携し、宮城県ドクターヘリを運用する。	19
	(1) ドクターヘリの安全かつ効果的な運用				
	(2) 救急搬送情報共有システムの効果的な運用	救急搬送情報共有システム運営事業	同上	・仙台医療圏の消防本部（救急隊）や救急医療機関が入力する情報により救急搬送の効率化を図るシステム「宮城県救急搬送情報共有システム」を運用する。	20
	(3) メディカルコントロール協議会の活動を通じた救命措置等や直接搬送の推進	救急搬送実施基準	救急搬送実施基準（消防課消防班）	・救急搬送実施基準の見直しを検討するとともに医療機関の更新を行う。	21
	(4) 救急救命士の配備体制の充実	救急救命士新規養成課程研修生募集	同上	・一般財団法人救急振興財団からの新規養成課程研修生募集にかかる配分調整を行う。	22
	(5) 応急手当等の普及啓発	コミュニティ事業等及び消防団設備整備費補助金の活用促進、消防（救急）ひろばの設置	同上	・各事業等について、情報収集するとともに、各市町村や団体に対し活用の促進を行う。 ・来場者に対し応急手当について普及啓発を行う。	23
	III 医療提供体制の構築	医療計画に基づく事業実施	宮城県地域医療計画（医療政策課企画推進班）	・みやぎ医療福祉情報ネットワークの利用促進に向けて、運営団体である一般財団法人医療介護ネットワーク推進財団 MIYAGI と連携を図り、運用の協議を行う。	24
	(1) 24時間体制で急性期医療が実施される体制の整備				
	(2) 在宅医療の提供体制の構築及び関係機関の連携推進	在宅歯科医療推進設備整備事業 在宅医療提供体制整備事業 在宅医療連携拠点整備事業	宮城県地域医療計画（医療政策課地域医療第二班）	・訪問歯科診療の実施を希望する医療機関に対し、在宅歯科医療提供体制を整備する。 ・在宅医療実施医療機関による設備整備に対し補助するとともに、在宅患者の急変時の受入に対応する医療機関に対し補助する。 ・郡市医師会等による在宅医療関係機関の連携体制構築に必要な経費を補助するとともに、県医師会による地域包括ケア推進支援の取組に対し補助する。	25
		認定薬局等の整備促進事業	宮城県地域医療計画（薬務課監視麻薬班）	・地域連携薬局及び専門医療機関連携薬局（以下「認定薬局」という。）の整備促進のため、薬剤師を対象に保険薬局のレベル別の服薬情報提供等に係る研修会や、無菌調剤技術に関する研修会等を開催する。 ・地域での認知向上のため、県民を対象とした認定制度及び在宅訪問可能薬局の周知を行う。	26

第 2 期宮城県循環器病対策推進計画			事業名等	関連する計画等 (担当課室)	令和 7 年度実施計画	整理 番号
節	施策					
		(3) 各治療ステージに携わる人材の育成	医師確保対策事業	宮城県地域医療計画 (医療人材対策室医 師定着推進班)	・ 県内の医師不足及び地域・診療科による医師の偏在を解消するため、「宮城県医師確保計画（宮城県地域医療計画）」に基づき、下記の事業等により、県内の自治体病院等への医師配置を実施する。 (1) 自治医科大学関係事業 (2) ドクターバンク事業・メディカルキューピット事業 (3) 専門医認定支援事業 (4) 東北大学地域枠対応医学生修学資金貸付事業 (5) 東北医科薬科大学医学部宮城枠	27
			専門知識を修得した 看護職員の育成関係 事業	宮城県地域医療計画 (医療人材対策室看 護班)	・ 医療の高度化、専門化の進行及び在宅医療需要の高まりに対応する訪問看護師、認定看護師、特定行為研修修了者の育成、県内配置のため、下記事業を実施する。 (1) 訪問看護推進事業 (2) 看護師特定行為研修支援事業 (3) 認定看護師課程等派遣助成事業	28
		(4) 循環器病治療体制の更なる充実・強化、 治療内容や医療連携に係る調査研究	病床機能分化・連携促 進調査事業	宮城県地域医療計画 (医療政策課企画推 進班)	・ 医療コンサルタントの活用により、二次医療圏ごとに医療機能等の分析を行う。	29
	IV	リハビリテーション等の取組	地域医療構想調整会 議開催	宮城県地域医療計画 (医療政策課企画推 進班)	・ 地域医療構想の推進に向けて、地域医療構想調整会議で議論を進め、持続可能な医療提供体制の確保に努める。	30
			ケアマネジャー多職 種連携支援体制強化 事業	みやぎ高齢者元気プ ラン（長寿社会政策課 地域包括ケア推進班)	・ 介護支援専門員個人が県内各地において地域包括ケアシステム構築の要となるために必要な多職種連携につい て、多角的な視点を取り入れ、現場対応力向上を図るための研修等※を実施する。 ※ 実施地域及び回数：おおむね各保健福祉事務所の所管区域ごと（仙南、仙台（仙台市を除く）、仙台市、大 崎、栗原、石巻、登米、気仙沼）に各 3 回、計 30 回程度	31
			宮城県地域包括ケア 総合推進・支援事業	同上	・ 本県における高齢者数及び高齢化率の推移は増加傾向にある。中でも後期高齢者数の増加が顕著であることか ら、フレイル（虚弱）及び要支援、要介護の高齢者が今後さらに増加すると予測される。このため、地域包括 ケアシステムの深化・推進に向けて、市町村が地域住民や専門職等と連携し、地域の多様な資源を活用しなが ら効果的・効率的な地域支援事業を実施することができるよう、広域的な観点から市町村支援を実施する。	32
	V	後遺症を有する者に対する支援	高次脳機能障害者支 援事業	みやぎ障害者プラン (精神保健推進室発 達障害・療育支援班)	・ 県指定の拠点病院及び地域支援拠点病院の支援コーディネーターを中心とした相談支援や専門的な研修等を実 施する。 ・ 県リハビリテーション支援センターや各保健福祉事務所等で、当事者やその家族等に対する相談支援を行うと ともに、研修会や家族交流会等を実施する。 ・ 高次脳機能障害の特性に対応できる専門性を持つ人材を確保するため、障害福祉サービ事業所の職員を対象 に、国が示すカリキュラムに則った高次脳機能障害支援養成研修を実施する。	33
			地域リハビリテーシ ョン推進強化事業	みやぎ障害者プラン (障害福祉課地域生 活支援班)	・ 個別相談に対して、リハビリテーションの観点から専門的な技術支援等を行い問題の解決を支援する。 リハビリテーション専門職や相談支援専門員等の支援者に対し研修会等を行い、障害児者支援の質の向上を図 る。	34
	VI	循環器病の緩和ケア	地域包括ケア総合推 進・支援事業	みやぎ高齢者元気プ ラン（長寿社会政策 課地域包括ケア推進 班)	・ 市町村職員、地域包括支援センター職員、居宅介護支援事業所職員等を対象に、在宅医療・介護連携推進の一 環として A C P（アドバンス・ケア・プランニング）に関する研修会を実施する。	35
			地域医療構想調整会 議開催	宮城県地域医療計画 (医療政策課企画推 進班)	・ 地域医療構想調整会議において、地域連携の必要性を説明し、理解を求める。	36
	VII	社会連携に基づく患者支援	介護支援専門員資質 向上事業	みやぎ高齢者元気プ ラン（長寿社会政策 課地域包括ケア推進 班)	・ 介護保険制度の円滑な推進を図るため、介護支援専門員の養成のための研修（実務研修）及び更新研修を行う とともに、現任の介護支援専門員を対象とする研修を実施し、資質の向上を図る。 ① 介護支援専門員実務研修 ② 介護支援専門員再研修及び更新研修 ③ 主任介護支援専門員研修 ④ 主任介護支援専門員更新研修	37

第2期宮城県循環器病対策推進計画		事業名等	関連する計画等 (担当課室)	令和7年度実施計画	整理 番号
節	施策				
		ケアマネジャー多職種連携支援体制強化事業	同上	・介護支援専門員個人が県内各地において地域包括ケアシステム構築の要となるために必要な多職種連携について、多角的な視点を取り入れ、現場対応力向上を図るための研修等※を実施する。 ※ 実施地域及び回数：おおむね各保健福祉事務所の所管区域ごと（仙南、仙台（仙台市を除く）、仙台市、大崎、栗原、石巻、登米、気仙沼）に各3回、計30回程度	38
	VIII 治療と仕事の両立支援・就労支援	脳卒中・心臓病等総合支援センター事業	— (健康推進課がん・循環器病対策班)	・産業保健総合支援センター等の関係機関と連携を図りながら、脳卒中・心臓病等総合支援センター事業における患者・家族相談への相談支援や情報提供を行い、両立支援・就労支援を行う。	39
	IX 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策	成人移行支援体制整備事業	— (疾病・感染症対策課難病対策班)	・宮城県成人移行支援センターにおいて、成人移行に対応可能な医療機関の情報収集及び外部医療機関との連携・調整に取り組む。	40
	(1) 医療体制整備について				
	(2) 患者自律（自立）支援について	同上	同上	・宮城県成人移行支援センターにおいて、患者・家族及び医療従事者等への啓発活動として成人移行支援に関する研修・講演を行うとともに、対面・電話・メールによる成人移行に関する相談支援及び情報提供等を行う。	41
	X 患者等への適切な情報提供・相談支援	脳卒中・心臓病等総合支援センター事業	— (健康推進課がん・循環器病対策班)	・循環器病患者や家族等の相談に対応するとともに、リーフレットや動画を活用した宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センターの周知に取り組む。	42
		同上	同上	・循環器病の患者団体と連携して、県民公開講座等の情報共有を図る。	43
	(3) 人材育成等による地域包括支援センターの運営支援等	地域包括支援センター機能強化推進事業	みやぎ高齢者元気プラン（長寿社会政策課地域包括ケア推進班）	・地域包括支援センターが担う介護予防支援及び包括的支援事業を通じて、地域住民の心身の健康と生活の安定のために必要な援助を包括的に支援することができるよう、市町村担当職員及び地域包括支援センター職員の地域と技術の向上を図る研修等を実施する。 ・地域包括支援センター職員基礎研修（3回程度） ・地域包括支援センター職員課題別研修（2回程度）	44
	XI 宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センター	脳卒中・心臓病等総合支援センター事業	— (健康推進課がん・循環器病対策班)	・宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センターの運営を東北大学病院に委託し、循環器病の正しい知識の普及啓発として、県内各地において県民公開講座を開催するとともに、循環器病患者等からの相談に対応する。	45
3 循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備	宮城県脳卒中発症登録及び急性心筋梗塞調査報告書による診療情報の収集	脳卒中登録事業 心疾患登録事業	— (健康推進課がん・循環器病対策班)	・宮城県対脳卒中協会に委託し症例のデータを収集する。 ・宮城県医師会に委託し症例のデータを収集する。 ・得られたデータは、循環器病対策の各種施策に活用する。	46